

< 2 実践事例 >

- 1 題材名 「よりよい選択で生活を豊かに！」(第3学年)
— 意思決定のプロセスを基にした消費生活の改善 —

2 題材観

(1) 生活と消費

私たちの身の回りは「もの(財)」であふれています。食べ物、住居、衣服、靴、家具、電化製品……数多くのもが挙げられることでしょう。さらに近年では、インターネットやスマートフォンが普及し、情報収集やコミュニケーション、取引のための手段として欠かせない存在となっています。また、生活していく中で「サービス」を購入することもあります。病院に行ったり、旅行や映画や買い物に出かけたりすることもありますし、こども園を利用する人もいます。

このように、私たちが生活するうえで、数多くの「もの(財)」と「サービス」が必要です。そして、これらを得るためには、ほとんどの場合、金銭でのやりとりが生じます。つまり、私たちの生活は、消費することによって支えられており、生活の大部分を占めていると言えるでしょう。



財・サービス支出の内訳
『平成28年度版
消費者白書』消費者庁

(2) どのように消費行動をしているのか？

① 意思決定のプロセス

実際に、Tシャツを購入する場面を考えてみます。一言で「Tシャツ」と言っても、さまざまな色、形、素材、ブランド、価格などがありますから、よく考えて購入するでしょう。このとき私たちは、以下のような過程で意思決定をしています。

<ア 問題の明確化>

購入するかどうか、どちらを購入するかなど、購入の目的を明らかにする

<イ 情報収集>

価格、デザイン、素材など、判断材料を集める

<ウ 解決策の比較検討>

ア、イに照らし合わせて、どれがよいか吟味する

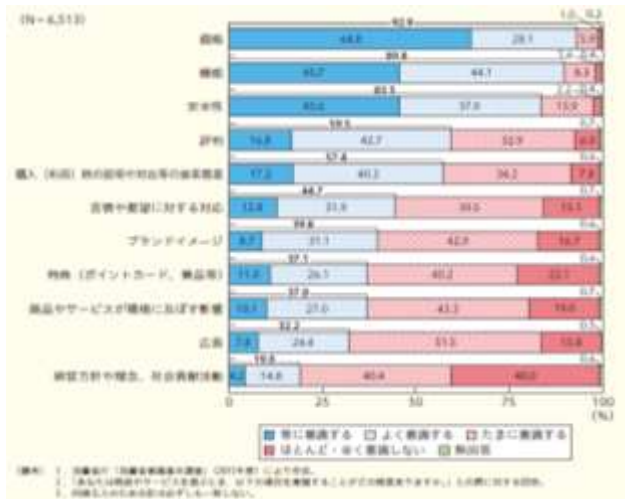
<エ 決定・実行>

購入する、購入しないなどの結論を出す

しかし、より身近な商品を購入する場合は、このように思考していることを意識せずに決めていたり、考えることさえしていなかったりすることが多いのではないのでしょうか。子どもたちにおいては、このプロセスを意識する必要性のある消費行動の機会も少なく、判断材料に乏しい状況で意思決定していることが考えられます。

② 消費者の意識

それでは、消費者はどのようなことを意識して意思決定しているのでしょうか。



商品やサービスを選ぶ際に意識すること
『平成28年度版 消費者白書』消費者庁

『平成28年度版 消費者白書』の「商品やサービスを選ぶ際に意識すること」によると、価格、機能、安全性を意識して商品を選択している人が多いことがわかります。限りある収入の中で、消費行動を繰り返していくことを考えると、「価格」が判断基準となることは当然でしょう。



『ライフデザイン白書 2015年』

しかし、『ライフデザイン白書』の「モノの購入に対する考え方」によると、同じ「価格」と答えた人の中にも、「とにかく安いものを選ぶ」という人もいれば、「高くても良質なものを選ぶ」という人もいることがわかります。納得する基準が人によってさまざまであることが、異なる消費行動を選択させているのでしょう。「機能」についても同様で、全ての人が同じ機能を必要だと感じているわけではありません。「安全性」のように、多くの人が同じように「安全な方がよい」と意識するものもありますが、生活の中で大切にしていることは人によって異なります。それぞれの判断材料によって、比較検討して意思決定しているため、消費行動には、個々の価値観が強く反映されていると言えます。

(3) 豊かな消費行動と満足感

先述したように、消費行動が生活の大部分を占めていると考えれば、豊かな消費行動をすることが豊かな生活を創ることにつながると言えます。それは、必ずしも金銭的・物質的に充実している必要があるとは限りません。例えば、外食に1万円をかけたとします。食べた後に、幸せな時間を過ごせた満足できたのなら、その人にとってよい使い方ができたことになるでしょう。しかし、もし後悔が残るようであれば、金銭的余裕があったとしても、1万円の無駄遣いにしかなりません。逆に、外食にかかる金額が少なくとも、満足することもあります。単に「金銭的に裕福であるから豊かである」「物をたくさん持っているから豊かである」というわけではなく、自分が生活の中で大切にしているもの（価値観）に対して金銭を支払ったときに得られる満足感が、豊かな消費行動につながっていると言えるのではないのでしょうか。

それでは、どのようなものが価値観ととらえられるのでしょうか。

①ものやサービスによって得られるもの

消費行動をしたとき、私たちは、ものやサービスそのものに金銭を支払っているだけでなく、ものやサービスによって得られるものにも支払っています。例えば、時間、経験、快適さ、便利さなどが挙げられます。外食の例で言えば、高級レストランで食事をするのは、一流の料理を味わう経験やシェフの腕に支払っていると考えられますし、ファストフード店で食べることは、食事以外の時間を手に入れていると考えられます。もし、何か祝うために外食に行ったとしたら、相手の喜ぶ姿に支払っていると言えるかもしれません。

②ものやサービスに携わる人々

私たちが支払った金銭は、その後、ものやサービスにかかわった人たちの手に渡っていきます。つまり、店員、運送業者、生産者など、商品に携わる人たちにも支払っているということです。そのような、ものやサービスを提供する人々の営みに注目したとき、私たちの消費に対する意識が変わったり、選択の幅が広がったりして、消費行動が変わることも考えられます。復興支援のために被災地で生産されたものを購入したり、フェアトレード認証製品を購入したりすることは、まさに「生産者、生産している地域を意識した主体的な消費行動」と言えます。

購入するものや状況によって、優先するものは異なりますが、私たちは、ものやサービスとともに、上記①②のようなものに対して金銭を支払っていると考えることができます。

(4) 題材と子どもたち

本校の子どもたちは、バスや電車で通学したり、学校帰りに夕食を食べてから塾へ行ったりすることが多く、毎日消費行動をしています。行事のために臨時に集金している姿も見られます。携帯電話やスマートフォンを利用する子どももいるので、実感することなく消費していることもあるでしょう。子どもたちにとっても、消費行動はあまりにも当たり前のことで、自分がどれだけ消費しているのか、どのようなものに対して金銭を支払っているのかを意識することはほとんどないでしょう。

本題材では、意思決定のプロセスを核として構想することで、無意識に行っている消費行動を意識化する機会にしたいと考えています。意思決定のプロセスに沿って判断し、評価、フィードバックすることで、よりよい意思決定ができるようになっていくでしょう。また、自分とは異なる価値観にふれたとき、さらに選択肢が広がっていくはずですが、子どもたちが、場面に応じて大切にしたいことは何かを考え、それによって優先順位を決め、納得のいく選択ができるようになることを期待しています。

参考文献：神山久美・中村年春・細川幸一（2016）

『新しい消費者教育 これからの消費生活を考える』 慶應大学出版会

静岡市市民局生活安心安全課（2016）

中学校 家庭分野 D「身近な消費生活と環境」副教材『エブリデイ消費者！』

株式会社 第一生命経済研究所（2015）『ライフデザイン白書 2015年』 ぎょうせい

池上彰（2014）『経済のことよくわからないまま社会人になった人へ 第3版』 海竜社

参考資料：「消費者庁」<http://www.caa.go.jp/>

3 学習指導要領との関連

D 身近な消費生活と環境

(1) 家庭生活と消費について、次の事項を指導する。

ア 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。

イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。

4 授業実践

(1) 自分の消費行動をふり返る

授業者はまず、「昨日の放課後から、今日、学校に来るまでに使ったものを思い出してみよう」となげかけました。子どもたちは、「服」「靴」「スマホ」「バス」「電車」「水」など、さまざまなものやサービスを挙げました。誰でも、意識せずに購入して手に入れているということを確認し、子どもたちに、これまでの消費行動をふり返ってみようなげかけました。そして、購入したのものやサービス、価格、満足度とその理由をワークシートに書き出すよう促しました。ものを購入する習慣の少ない子どもには、昨年度の文化旅行でどのようなものを購入したか尋ね、全員が自らの消費行動をふり返ることができるようにしました。子どもたちは、購入したものと価格、満足度などを書き出すことで、これまでどれほどのものやサービスを購入してきたかがわかったり、自分の消費行動の傾向を知ることができたりしました。

購入したものの一つ一つについてふり返った後、「購入するときに戻ったとしたら、同じ消費行動をするか」と問いかけました。子どもたちは、以下のように答えました。

- ・映画は、待てばテレビで見ることができるから行かない
- ・生徒手帳ケースは、かわいかったけど生徒手帳が入らなかったから今度は買わない
- ・文化旅行の時に購入した唐辛子は、辛すぎて捨ててしまったから、もう買わない
- ・友だちと楽しむことができたから、映画にはもう一度行きたい
- ・テレビより集中して見ることができるから、私も映画はもう一度見に行く

など

このように、購入したが使わなかったものなど、満足度の低かった商品は「購入しない」と答え、比較的、満足度の高かったものは「購入する」と

答えました。そして、価格に対して質がどうだったか、必要だったかによって、消費行動の満足度が決まっているのではないかと気づきました。

そこで授業者は、「どうすれば満足できる消費行動となるだろう」となげかけ、それぞれの考えを「追求の記録」に書くよう促しました。子どもたちは以下のような考えをもちました。

- ・「ほしいもの」「必要なもの」の区別も必要だ
- ・買う前に、本当に自分は使うのか、あとで後悔しないかを考えること。長く使うだろうと考えられるものを買うとよい
- ・予算の中でなるべくよいものを選ぶ努力で、楽しい買い物ができるはず
- ・コストパフォーマンスや、サービス性などのホスピタリティにも目を向けて、何がよい商品であり、よいサービスなのかを吟味して消費活動をするのが今後大切になる
- ・新しく発売されて買ったものが、何年か後には安くなっていたときに「値段が下がるのを待てばよかった」と後悔が残る。その時の気分でものを買ったり、たかが100円程度という考えをするとあとで後悔することがあるので、一つ一つものを買うときには本当に自分に得かということを考えて買うべき

など

(2) 消費についてのさまざまな価値観を知る

第1時を終えて、子どもたちは、さまざまなことを考えて購入することが大切であることに気づきました。そこで授業者は、購入する際に考えていることを、子どもたち自身が客観視できるように、「購入するときに自分が何を考えて商品を選んでいるか、図に表してみよう」となげかけました。図には、判断材料となる要素と割合を示せるようにしました。

① 通学用の靴を購入したとき

	サイズ (フット感)	防水	値段
色		濡れに くさ。	歩き やすさ
		X-カ	サイズ
かかと			デザイン
	の高さ		
		靴	

など

④ 冬服を購入するとき

	あつかい。(通気性) ほろほろ。 今持ってる服の くちあわて。 (同じような服がある)	汚れにくい。 (洗いやすいかも)	値段
		前髪	
見か目		素材	
		サイズ	
		生地	生地

など

② 友だちと外食に行くとき

メニュー の好み。		お肉の 下取り。 (お肉の味)	
		値段。	
評判	相手の 評判	自分の 評判	
お肉の 好み (肉)	お肉の 好み	お肉の 好み	お肉の 好み

など

⑤ シャープペンを購入するとき

デザイン	に ガ リ や ま さ	値段	色
値段			

など

③ 携帯電話を購入するとき

X-カ-an (カメラの 性能)	画 質	壊れにくさ (水OKかな)
容量 (メモリ)	デザイン	価格
画 質 (カメラ)	外 観 環 境	容量 傷みにくさ 何月何日の 保証
音質		カバーが豊富か

など

⑥ 友だちと旅行に行くとき

移動距離	治安	経費	景観

など

図を作成することができたら、自分の作成した図①～⑥を見比べたり、班内で図を比較したりするよう促しました。そして、「自分の図の傾向や、班で共通していたことなどがあるだろうか」となげかけました。すると、子どもたちは以下のような発言をしました。

- ・どれも似た考えをしている
- ・価格の高いものほど質を考えている
- ・これからも使うものは価格と品質を大切にしている

- ・見た目を重視しているから、あとで「失敗したな」と感じる
- ・購入機会の多いものは、価格重視
- ・レビューなどの他の人の視点も大切

など

このように子どもたちは、自分や友だちが作成した図を見比べることで、次のようなことに気づくことができました。

- ア どの場合にも意識している要素があること
- イ 時と場合によって考える内容や度合いが異なること
- ウ 人によって異なる判断材料があること
- エ 多くの人に共通している判断材料があること

子どもたちの発言から、授業者は「満足できる消費行動」のために考えた方がよいこととして、以下に示したような要素があることを全体で確認しました。

- | | | |
|-------|--------|-------|
| ・見た目 | ・値段 | ・使用期間 |
| ・大きさ | ・予算 | ・メーカー |
| ・ブランド | ・性能 | ・割引き |
| ・時間 | ・使いやすさ | ・口コミ |
| ・産地 | | |

など

そして「満足できる消費行動にするには、これらをどのように考えればよいだろう」となげかけ、自分の考えを書くよう促し、授業を終えました。子どもたちの「追求の記録」には、次のようなことが書かれました。

- ・文房具などは、買いに行く前にインターネットなどでレビューを見る
- ・思い出に残ること、ずっと使えるかを最初に考えて、最後で二択とかになったときは価格で選ぶ
- ・まず、デザインを見て、試したり価格を見たりして購入するか決める。高いものは、セールさ

れる店ならそれまで待つ

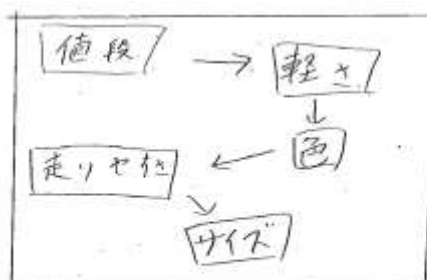
- ・購入する前の段階では価格について考え、購入する直前には本当にほしいかどうかということを考えて後悔しない買い物ができるのではないか

など

(3) 意思決定のプロセスの意識化・可視化

まず、第2時で挙げた「満足できる消費行動」のために考えた方がよい要素について確認しました。そして、これらがどのようにかかわって購入に至ったのか、購入までの思考の流れを図にまとめるようなげかけました。

①通学用の靴を購入したとき



値段 ... 高くて買って後悔しない

軽さ ... 重い靴ははきたくないので、軽さを比べる

色 ... 派手だったり、似合いのものは、はきたくないので、デザインも考える

走りやすさ ... 歩いたり、走ったりするときの感じを重視

サイズ ... ちよとゆとりがあるサイズに、なければ別の靴を選ぶ



図が書けたところで、班で考えを伝え合い、取り入れたい考えがあれば、図に書き加えるようなげかけると、以下のようなやりとりや、書き込みが見られました。

- ・値段は5000円以内で決められている
- ・予算よりもサイズの在庫が重要だ
- ・足の横幅がないから、このメーカーの方がよい
- ・行くお店はもう決まっているのではないか
- ・お店によって置いてあるものが違う

など

※仲間の考えをもとに、つけ加えられた部分

靴よりも満足度の低い買い物についても同様に図示し、満足度が高くなるためにはどのように考えればよかったか、班で意見を伝え合うようなげかけました。

②満足度の低いもの

買って満足度が低かったもの。	買わずにやめたもの。
デザイン ↓ 価格 安い!!	デザイン ↓ デザイン ↓ 価格 ↓ 本当に必要かどうか 他にいいものがあるか。
満足度が高くなるためにはどのように考えればよかったのか。	
もっと必要かどうかを考えた。社利社利の見方をする。買いたい前に、他に何かはいいものがあるか考えている。価格と物の価値を比べて、買うようにする。	本当に必要かどうかを考えた。結局、他にいいものがある場合、にネット通販で買う。

- ・満足度が低いのは「値段」しかない。セールるとき購入してしまう
- ・必要なとき、必要なものを購入すればよいのではないか
- ・いつか必要になると思う
- ・本当に必要なのか、ほしいものなのか、一旦考え直すべき
- ・値段に見合う性能かどうか、メーカーや口コミから情報を得て購入すればよい

など

最後に、改めて「満足できる消費生活」にするための考え方について考えを書くよう促し、授業を終えました。子どもたちの「追求の記録」には、以下のような考えが書かれました。

- ・自分の経験から、「値段」を最後にすると満足度が高くなる
- ・値段で選んでしまって失敗した人が多かった。使用期間を考えて、値段を高くするか低くするか決めるという案に納得できた。今度、自分も何か買うときに気にかけてみたい
- ・満足度が高いものは、たくさんの方向から考えているが、低いものは一方向でしか考えていない。たくさんの方向から考えた方がよい。また、自分が使っている姿を想像してみるとよい
- ・靴は満足度が高かった。それは、購入する前の最後の審査として「履いてみる」ことをして、自分が履いて登校しているイメージができたからだ。満足度を上げるには、「実際に履いたり着たりすること」がある
- ・今は、インターネットも使えるので、レビューを多く見ることができる。買い物で失敗するときは、物欲だけで購入してしまい、後悔してい

る。イヤホンなどは、試すことができないので、口コミを見ることがとても大切である

など

満足度は、購入に至るまでに考えた時間や、要素の数などによって異なることに気づき、より満足するためには、さまざまな要素について、じっくりと検討することが必要であることを実感することができました。

(4) 実践を踏まえて、よりよい消費行動について考える

学習のまとめとして、再度、自分の消費行動について振り返る時間としました。購入したものの金額、満足度とその理由だけではなく、どのような判断基準で、どのように考えて選択したか、さらには、購入しなかったものについても記入するよう促しました。

◎実際に、購入までのプロセスを意識して消費行動をしたらどうだったか振り返ってみよう

購入したもの	金額	満足度	理由
野菜生活	110円	★★★★☆	
消しゴム	55円	★★★★☆	お風呂に買ってきたけれど大層ト 買ってきたけれどいい。
STYLE-FIT	800円	★★★★★	1000円のものを買ったけれど、 1000円のものを買ったけれど、 1000円のものを買ったけれど、 1000円のものを買ったけれど、
ホロス	670円	★★★★★	買ってよかったから満足。
ネーブルス		★★★★★	買ってよかったから満足。
シャシ ^{0.5} B	110円	★★★★★	シャシを買ったけれど、 大層買ってよかった。
シャシ ^{0.5} B	200円	★★★★☆	110円のものを買ったけれど、 110円のものを買ったけれど、
シャシ ^{0.5} B	200円	★★★★☆	110円のものを買ったけれど、 110円のものを買ったけれど、

◎実際に、購入までのプロセスを意識して消費行動をしたらどうだったか振り返ってみよう

購入したもの	金額	満足度	理由
アクリル	810	★★★★☆	とてもおもしろい。 おもしろいから満足。
おめ玉	250	★★★★☆	おめ玉に満足。 おめ玉に満足。
アクリル おめ玉	115	★★★★☆	おめ玉に満足。 おめ玉に満足。
おめ玉 おめ玉	189	★★★★☆	おめ玉に満足。 おめ玉に満足。
		★★★★☆	
イヤホン	2000円	★★★★☆	とてもおもしろいから満足。 おめ玉に満足。
		★★★★☆	おめ玉に満足。 おめ玉に満足。

化した理由に気づくことができました。また、実践して評価することで、改めてこれまでの消費行動とこれからの消費行動について考える機会となりました。題材を終えて、子どもたちは、以下のような考えをもちました。

- 最初買ったものは、満足度が1や2などもたくさんあったけど、今日書いたものには1とか2がなかった。自然にこのようなことを意識することで無駄がなくなると思った
- 前は「買わない」を選んで後悔していたのが、今回は思い切って買って満足できた。チラシを見て、何をかうか決めていったことが満足につながったのではないかな
- 授業でやったことや、自分でまとめてみたことを意識して過ごしてみると、あまり商品に手をつけることがなくなって、必要最低限のものしか買うことができなくなった
- シャープペンなどの長く使えるものは、前回に比べて、未来のことを考えられたから、よい選択ができたと思う。しかし、食料品はすぐに任務が終わるので、どうしても適当になってしまおう
- 前回買って、満足度5だった「24時間テレビのTシャツ」は、よく考えてみると、もう夏が終わったし、高かったし、今年しか着られないから少し後悔している
- 全体的に満足度が上昇した。前回書いた4つのことを意識したからだと思う。やはり食べ物を買うと、損をした気分になった。友だちが言った「使うタイミング」も重要だと思った。商品がどうこうではなく、使う人自身の気配りがあれば、満足度2にはなると思った
- 質にこだわることで満足度は上がる。値段も気にする必要はあると思う。服とかの品質（ナイロン、アクリルなど）は、去年、通気性や保温について調べたから活かしたい
- お菓子の割合が大半を占めていた。自分の食欲にはなかなか勝てない。しかし、自分の財布の状況を気にするだけではなく、店員さんの気持ちも少し考えたい。試食だけしといて買わないとか、相手が不快になるような買い物も避けて、売る側と買う側両方にとって気持ちよく消費活動ができるようにしたい

など